

## 1. 本県周辺海域の概況(1/15現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・三陸沖には暖水塊が分布しています。その陸側では親潮第1分枝が北緯39度30分付近まで達しています。
- ・黒潮の流型はN型(直進流路)です。流路は犬吠埼沖を北東方向へ流れ、北緯36度50分、東経144度まで北上していると推測されます。また、黒潮から分かれた暖水(暖水舌)が本県南部海域の沿岸方向へ波及しています。

## 2. 海洋観測結果(1/9～1/11:いばらき丸)

- ・水温を図2～図5に、水温前月差を図6～図7に、平年偏差を図8～図9に示しました。
- ・水温は北部沿岸域では11～14℃台(図10)、南部沿岸域では12～17℃台になりました(図11)。また、沿岸から沖に向かうと急激に水温が変化する潮目が形成されていました。前月と比べると、東経141度30分付近を中心にして昇温したものの、表層は広く降温しました(図12, 13)。平年と比べると、北部海域は表層で概ね「平年並み～低め」(図14)、南部海域は犬吠埼の沿岸域で「低め」、その他は概ね「平年並み～高め」となりました。(図15)。
- ・流れは、南部沿岸域では沿岸方向への真潮(北上流)、北部海域では東経141度45分付近を中心にして逆潮(南下流)でした。また、沖合域は北東方向への強い流れでした(図16)。

## 3. 今後の1か月の見通し

- ・親潮の勢力は平年並みで推移し、親潮系冷水の本県への強い南下はないでしょう。ただし、北部沖合域は逆潮がみられることから、この海域では北方から冷水が波及しやすい状況が続くでしょう。
- ・黒潮はN型基調で推移して大きな流路変動は無いでしょう。黒潮から分かれた暖水の影響はしばらく続くでしょう。
- ・気温が低めで推移すると予測されていることから(気象庁)、海面付近の水温は低めで推移するでしょう。
- ・水温を平年と比べると、海面付近や北部沖合域は「低め」で推移するでしょう。海域全体では黒潮の影響が南部海域を中心にあるため、概ね「平年並み～高め」で推移するでしょう。

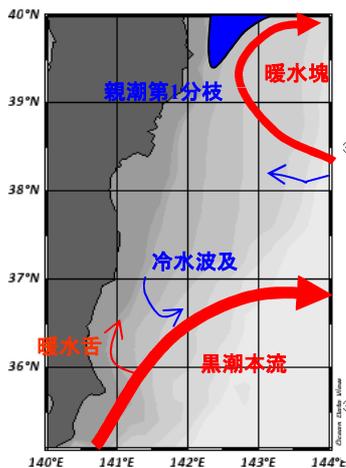


図1 海況の概要  
(1月16日現在)

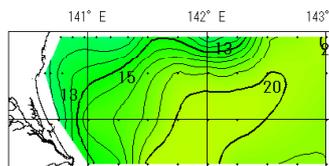


図2 海面水温(°C)

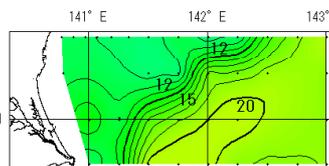


図3 50m深水温(°C)

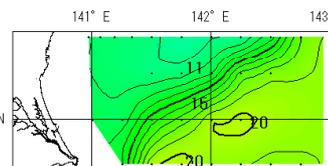


図4 100m深水温(°C)

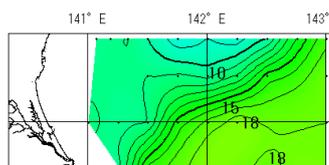


図5 200m深水温(°C)

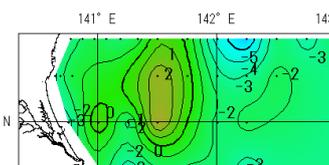


図6 海面水温前月差(°C)

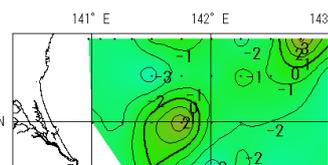


図7 100m深水温前月差(°C)

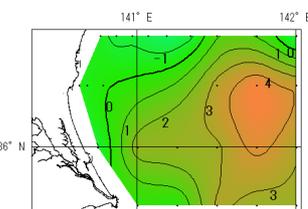


図8 海面水温偏差(°C)

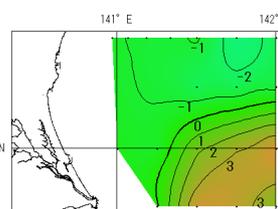


図9 100m深水温偏差(°C)

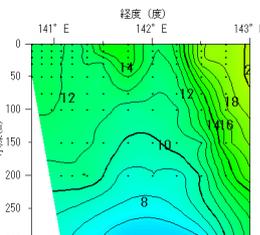


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

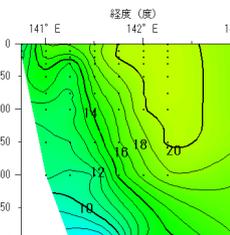


図11 鹿島沖鉛直水温(°C)

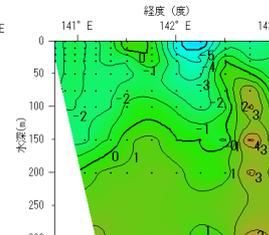


図12 会瀬沖鉛直  
水温前月差(°C)

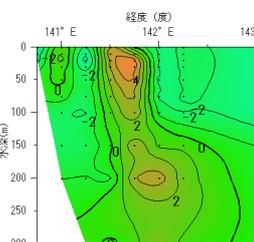


図13 鹿島沖鉛直  
水温前月差(°C)

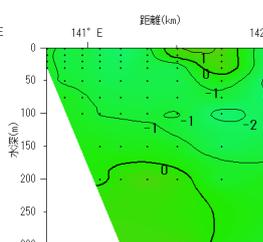


図14 会瀬沖鉛直  
水温偏差(°C)

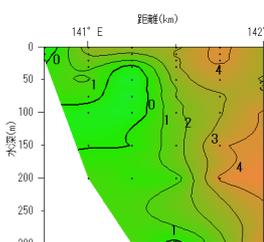


図15 鹿島沖鉛直  
水温偏差(°C)

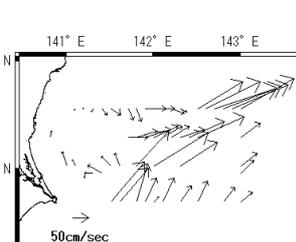
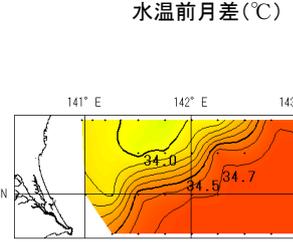


図16 水深20mの流向流速  
(50cm/s≒1ノット)



参考 100m深塩分 (PSU)